

どに使われる予定。さらに協力して新しい校章をデザインを考えるには来月、6つの小グループが中心となり、夏には生徒と金沢美術工芸大学の学生が

寄贈式後、青年部では仮設校舎を見学し、震災当時の様子や輪島市の教育現場の現況、今後の取り組みを聞いた。さらに協力して新しい校章をデザインを考えるには来月、6つの小グループが中心となり、夏には生徒と金沢美術工芸大学の学生が

報告を受けた。

(荒沼 滯)

高校で物流特別授業

サイショウ・エクスプレス 「当たり前は誰が運んでいる？」

【東京】サイショウ・エクスプレス(江東区)の齋藤敦士社長は10月27日、横浜市立横浜商業高等学校のスポーツマネジメント科3年生を対象に特別授業を行った。同科では今年から、探求の授業として民間企業の経営者を招き、将来のキャリアについて考える授業では、「物流が止まったら困るものランキング」を紹介しながら、東日本



教壇に立つ齋藤社長

大震災発災当時の同社の対応や現場の状況について説明した。さらに、「送料無料の本当の意味や、物流における宅配便の比率、企業間輸送

た。今回のテーマは、「当たり前は誰が運んでいる？」。授業では、「物流が止まったら困るものランキング」を紹介しながら、東日本

はどのように乗り越えるか」「社員と話した。授業の終盤では、物流業界が抱える担てぜひ知ってほしい」と生徒に呼びかけた。

質問にも丁寧に答え、社会を支える大切な仕事のひとつとして、齋藤社長は「大切な仕事を担てぜひ知ってほしい」と生徒に呼びかけた。

(越後桃子)

異業種とのつながり深めて

赤帽首都圏協組とラストワンマイル協組 組合まつりに参加

【東京】赤帽首都圏協組(台東区)の会長、台東区協組(長谷川)とラストワンマイル協組(志村直純)の理事長、府中市)は10月29、30日、東京分野で参加。出展目

の会場には参加した約130団体があり、9つのカテゴリーのうち、「モビリティ」を並べ、両組合は

